



ネイチャーセンターだより

2014年7月号

いきもの図鑑



ウグイス (ウグイス科)

学名 *Cettia diphone*

英名 Bush Warbler

オスがさえずる「ホーホケキョ」は日本の三大美声として知られていますが、姿はたいそう地味な鳥です。巣作りから子育てはすべてメスの仕事です。その間オスはさえずりを繰り返し、自分のなわばりを主張して敵からヒナを守り、さらには一夫多妻のため次のつがい候補を探しています。ウグイスの社会も楽ではなさそうです。

【上旬】

春国岱では、エゾフウロが開花、ウミミドリやハマナスが見頃です。ハマナスは毎年シカの食害に遭い心配ですが、今年は何のくらい楽しませてくれるのでしょうか。草原ではノビタキやヒバリ、コヨシキリなどが、森ではルリビタキやエゾムシクイたちが忙しくエサをヒナに運ぶ姿が見られます。



7月の見どころ



【下旬】

自然学習林は、ホザキシモツケやツルアジサイ、チシマアザミなど夏の色彩でにぎやかです。カラスアゲハやウラギンヒヨウモンなどチョウも多く見られます。ヒナたちは親鳥からエサの取り方など生きる術を教わります。もし見かけても、そっと見守ってあげてください。

見どころ MAP

ハマナスが開花、草原ではヒバリやノビタキ、シマセンニュウ、ノゴマなどが子育てをしています。

湿原や干潟では、タンチョウ家族が食べものを探しています。

エゾツルキンバイやノハナシヨウブが開花。

小鳥たちは子育ての季節です。カラ類やエゾムシクイ、コサメビタキなどが忙しく飛び回っています。池では成体になったばかりのエゾアカガエルがピョンピョン歩いています。

ルリビタキ、オオアカゲラ、カッコウなどの森の鳥が見られます。

下旬には、北方で繁殖を終えたシギ・チドリ類が子どもを連れて早くも渡ってきます。

— 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
— 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
— 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
— 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)

— 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
— 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

タンチョウ

先月に引き続き6月も繁殖状況調査を行いました。春国岱と風蓮湖周辺には約30ペアがなわばりを持っていますが、今回確認できたヒナは4ペア4羽でした。昨年と同じ時期に比べると2羽多いので、この結果は好調といえそうです。

タンチョウのペアは一夫一妻でどちらかが死なないかぎり、基本的に相手を変えないそうです。巣作りや抱卵、子育ては夫婦が共同で行い、1回に1~2個の卵を産み約1か月でヒナが誕生します(ふ化)。ヒナはふ化後3日もすると、両親と一緒に巣を離れ(巣立ち)、その翌年の春、子別れの季節まで一緒に暮らします。

今回の調査中に、思いがけずタンチョウの成鳥に至近距離で遭遇してしまいました。成鳥も驚いたでしょうが、クールを装っているように素知らぬ顔をして坂を下りて行きました。間を置いてタンチョウが見えそうな方向を見ると、成鳥も再びこちらの姿を見つけ、「コオコオッーコオツ」とけたたましくよく通る大きな声を発しました。近くにもう一羽のタンチョウがいたので、妻か夫のどちらかに注意を促しているようでした。ただならぬ緊張感…、これはもしやと思い、姿勢を低くしてタンチョウから見えないようにより慎重に観察をしていると、夫婦の間にモソモソ動く茶色のものがありました。期待通り、それはタンチョウのヒナでした。

前を歩く親鳥は何度も立ち止まりヒナの様子を見、後ろにいる親鳥はヒナの歩く道を辿り、そして周囲の警戒も怠らず注意を払っていて、自分の子どもを大事に守っているように見えました。タンチョウの親は、ヒナがキツネや他の動物に襲われたり、若いタンチョウがなわばりにちょっかいをかけて来たりするので、一瞬たりとも気が抜けないでしょう。



たくましく、育って!

来月の調査時に、少し成長した4羽のヒナに出会えればと願っています。

トピックス

ネイチャーゲームで森あそび

6月14日、春国岱ネイチャーセンター横の自然学習林でネイチャーゲームを使った自然観察会を開催しました。前日まで雨がよく降っていたので開催が心配されましたが、当日は朝から久しぶりの太陽が出て絶好のイベント日和になりました。

最初は、草木や自然の中にかくれている○や△、渦巻きなどの模様や形を探す「フィールドパターン」というゲームをしました。探す形が書かれたシートを持って、じっくり探しながら歩くと、草木や生き物の葉や茎、羽などの中からいろいろな形を見つけることができました。次に、生き物たちのカモフラージュの知恵を知るために、自然の中で“偽物さがし”をしました。参加者の方に、一人ずつ順番に歩きながら観察路沿いに置かれた人工物を探してもらいました。みなさん一生懸命探してくれましたが、10個全部見つけられたのは、10人中たったの3人でした。生き物たちが身を隠すために行うカモフラージュと一緒に、背景に溶け込むような色や形をしたものは見つけにくかったようです。森のあちらこちらから小鳥たちのさえずりが聞こえてくる中、鳥たちを探しながら散策した後、最後に、ハガキ大の紙に小さな四角い窓を開け、それぞれの窓をお気に入りの葉っぱで飾る「落ち葉の窓」り、観察会を終了しました。途中、オタマジャクシやチョウチョ、カタツムリやトンボなどにも出会うことができ、参加者の皆さんにも楽しんでいただけたようです。



春国岱クイズ

夏は、小鳥の子育てシーズン。親鳥は愛情を込めてエサをやり、飛びかたや身の危険から回避する方法など生きる術を教えます。それでも喰う、喰われる厳しい自然の世界。もし手塩にかけたかわいいわが子が、天敵のキツネに襲われてしまったら…。小鳥の親たちはどうやって敵を追い払うでしょうか？！（A, Bから答えを選んでください）

- A. 別の種類の親鳥たちと協力して、キツネを追い払う
- B. キツネの毛を後ろからむしり取る



なんだ
なんだ？！



ビー

先月号の答え…A

イベント情報！



観察会などへの参加申込み、お問い合わせは春国岱ネイチャーセンターへ
電話（0153-25-3047）もしくは直接のご連絡をお願いいたします。

開催日時	行事名・内容	参加費	お申し込み方法など
7月20日(日) 13:00～ 15:30	春国岱 外来生物バスターズ 自然豊かな春国岱に侵入してきた外来生物などを減らす活動に参加してみませんか。外来生物ってなんだろう？ボランティア活動ってなにをするの？という方も自然を楽しみながらちょっと自然にいいことをしてみようという方も気軽にご参加ください。	無料	定員 20 名（先着） 7/18 までにお申込みください ※小学生以上（小学生は保護者同伴） ※集合：春国岱ネイチャーセンター ※持ち物：野外で活動できる服装、軍手、長ぐつ
7月7日～ 7月27日 開館時間中	タンチョウイラストコンテスト 釧路や根室の小中学生が描いたタンチョウのイラストを展示します。生徒たちの力作をぜひご覧ください。	無料	申込み不要 ※開館時間中はいつでもご覧いただけます。
7月27日(日) 9:30～ 12:00	海辺の生きもの観察会 干潟や岩場にすむ魚や貝などの生きものをつかまえて観察します。どんな生きものがみつかるでしょう。	100 円 (保険代)	定員 20 名（先着） 7/24 までにお申し込みください ※小学生以上（小学生は保護者同伴） ※集合：春国岱ネイチャーセンター ※持ち物：野外で活動できる服装、軍手、長ぐつ、タオル、着替え、飲み物など

ボランティアさん募集中！

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアグループ・スunkと個人参加のフィールドボランティアが活動をしています。レンジャーと一緒に自然を調べたり、観察会を開催したり、自主イベントを企画・実施したりなど様々な活動を行っています。いつからでも、経験がなくてもはじめられます。気軽にお問合せください。

- ◆対象：高校生以上
- ◆会費・保険料（年間）：
フィールドボランティア 300 円
ボランティアグループスunk 1500 円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆7月の休館日 : 2、9、16、22、23、30日

◆7月の開館時間 : 9:00～17:00

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。（要 事前申込）



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録